

汉日语 同形副词研究

施建军 徐一平 譙燕 编著



2012 年度国家社会科学基金资助项目中期成果(项目编号:12BYY138)

汉日语同形副词研究

施建军 徐一平 譙 燕 编著



學苑出版社

图书在版编目 (CIP) 数据

汉日语同形副词研究/施建军, 徐一平, 譙燕编著.

—北京: 学苑出版社, 2012. 12

ISBN 978-7-5077-4214-5

I. ①汉… II. ①施… ②徐… ③譙… III. ①汉语—
同形词—副词—对比研究—日语 IV. ①H146.2
②H364.2

中国版本图书馆 CIP 数据核字 (2013) 第 002606 号

责任编辑: 韩继忠

出版发行: 学苑出版社

社 址: 北京市丰台区南方庄 2 号院 1 号楼

邮政编码: 100079

网 址: www.book001.com

电子信箱: xueyuan@public.bta.net.cn

销售电话: 010-67675512、67678944、67601101 (邮购)

经 销: 新华书店

印 刷 厂: 金鑫印刷有限公司

开本尺寸: 880×1230 1/32

印 张: 11.5

字 数: 230 千字

版 次: 2012 年 12 月第 1 版

印 次: 2013 年 1 月第 1 次印刷

定 价: 35.00 元

《汉日语同形副词研究》课题在研究过程中，得到北京外国语大学世界亚洲研究信息中心资助；该书出版过程中得到日本国际交流基金的资助，在此表示感谢！

前 言

在汉语和日语中存在着大量的具有相同形态的词汇,我们称其为汉日同形词。这些词汇有的是从古代汉语进入到古代日语、然后一直保留至今的;有的是日本人利用汉字自己创造、后来又传入到汉语中的。在汉语和日语的这种词汇交流的过程中,部分同形词汇的意义和用法在中日两国语言中产生了微妙的变化,使得现代汉语和现代日语中同形词汇的意义用法似是而非。正因如此,这些同形词汇对中国的日语学习者和日本的汉语学习者来说,在给他们学习对象国语言带来便利的同时,也给他们造成了许多陷阱。

从现有的资料也可以看出,无论是中国的日语学习者还是日本的汉语学习者在使用这类词汇时错误率很高。根据人民大学贺阳对 74 篇日本人汉语作文错误的调查分析,汉日同形词的误用竟高达 1106 处,是所有错误类型中错误数量最多的。从下面的例子中我们可以清楚地看到这一点:

- ①人の利益を損害するウソは悪いウソに入る。(正确:損なう)
- ②ガラスを割ったら賠償するのが当然だ。(正确:弁償する)
- ③我去中国朋友工作的咖啡馆跟他练习谈话。(正确:会话)
- ④我产生了对自己的自信。(正确:信心)

从中国的日语教学和面向日本人的汉语教学角度来说,调查汉日同形词汇的实际使用情况,研究汉日同形类义词汇的意义用法差别具有特别重要的现实意义。汉日同形词汇研究的方法和成果对解决汉字文化圈其他国家语言中的类似问题也具有非常重要的借鉴作用和学术价值。

汉日同形词研究一直是中日语言学家关注的热点,迄今为止产生了许多研究成果。上世纪 70 年代,日本为了加强对华文化宣传,非常

重视中国的日语教育,为此日本政府由日本文化厅主导,组织学者开始研究汉语和日语之间的相同点和不同点,并以委托项目的形式给早稻田大学语言教育研究所下达了“日本語と中国語との言語構造の対照研究”(汉语和日语语言结构对比研究)的科研任务。这个委托项目包括两个部分:一部分是“中国語と対応する漢語について”(和汉语对应的汉字词汇),另一部分是“類義漢語の日中対応について”(类义汉字词的日中对应)。实际上,前一部分就是研究中日同形词的甄别问题,而后一部分则是同形类义词的意义用法比较研究。1978年日本文化厅出版的《中国語と対応する漢語》就是这个项目的最终成果之一。该书收录汉日语同形词 2000 多条,并将同形词分成 3 类,即同形同义词(约占 2/3 左右)、同形异义词(1/3 弱)、同形类义词(80 余条)。

在我国改革开放后,日语教育也开始受到重视,日语教学中汉日同形词的问题是教学一线老师经常碰到的问题,许多日语教师也开始研究中日同形词。但是,这些研究大多还只是研究者凭着个人兴趣、对中日同形词进行的个案考察。也有个别学者利用词典等工具书为对象尝试了对中日同形词的调查。但是,由于工具书的局限性以及研究方法的局限性,使得其研究结果和现实语言生活中的实际情况存在很大差距。

可以说有关汉日同形词汇的基础性问题至今没有得到实质性解决。该领域研究仍然存在以下问题:1)有关汉日同形词的概念需要从理论上进一步界定。由于概念的模糊,国内有学者将汉日同形词和日语中的汉字词混为一谈。2)汉语和日语中正在使用的同形词汇到底有多少至今尚无科学的结论。3)目前《汉日词典》或者是《日汉词典》对汉日同形词的意义用法的解释和描述存在很多偏误。4)汉日语中的同形同义、同形类义、同形异义的词汇各有多少?如何判别?这些问题也有待进一步解决。5)对同形类义词汇的意义用法差别缺乏系统研究。

我们虽然从很早就开始关注汉日同形词的问题,但是真正开始着手研究是近 5 年的事情。2008 年在大阪大学做访问学者时,施建军研制开发了《汉日通用语料库分析工具》。为了测试该语料库分析工具

的性能,利用该工具尝试分析了《人民日报》(2000年,约2000万字)和《朝日新闻》(1998年—2000年,约2000万字)中的中日同形词,解决了利用计算机从大规模语料库中自动抽取中日同形词的问题,并从上述语料中抽取了9950对中日同形词。在实现了同形词的自动抽取后发现,中日同形词问题是绝非靠一人之力所能完成的研究领域,应该组织团队集体攻关,并争取得到国家社科基金的资助。为了实现这个目标,回国后,我们组织部分老师和博士、硕士研究生开始了该项目的前期探索,目的是摸索中日同形词研究的方法问题,为今后申请国家课题打下基础。

由于中日同形词中,副词数量比较少,从研究角度讲,又能成为一个相对完整的研究单元,并且有可能在较短的时间内出成果,因此我们决定中日同形词前期探索研究先从同形副词开始。我们根据汉日语同形副词分别在汉语和日语中的使用情况,选取了22对常用的同形副词进行了汉日语比较研究。这些副词如下:

汉语	日语	汉语	日语
多少	多少(たしょう)	依然	依然(いぜん)
特别	特别(とくべつ)	大体	大体(だいたい)
一旦	一旦(いったん)	万一	万一(まんいち)
绝对	绝对(ぜったい)	始终	始终(しじゅう)
当然	当然(とうぜん)	一一	一々(いちいち)
相当	相当(そうとう)	断然	断然(だんぜん)
全然	全然(ぜんぜん)	一举	一举(いっきょ)
一度	一度(いちど)	唯一	唯一(ゆいつ)
普通	普通(ふつう)	早晚	早晚(そうばん)
一时	一时(いちじ)	时时	時々(ときどき)
平常	平常(へいじょう)	实际	实际(じっさい)

对上述汉日语同形副词我们分别考察了其起源、现在的含义、词典意义、在汉语和日语中的各自的用法。利用KWIC工具从语料库中抽取了大量的实例,从实例中归纳出了这些副词的实际使用意义和用

法,指出了现有词典中的一些不足。同时我们通过考察这些副词在汉语和日语中的使用语境,辨别了其在汉语和日语中的用法差别和对译关系。比如,“实际”(日语同形词为:實際)无论在汉语中还是在日语中,都可以作副词,同时还可以做名词。汉语中有时还可以做形容词使用。作名词使用时汉语的“实际”和日语的“實際”意义用法比较相近,因此互译率很高。但是作为副词用时汉语的含义比较单一,通常可以译成日语的“實際”;而日语“實際”作副词用时,含义非常丰富,不能够简单地将其翻译成汉语的“实际”。我们对上述每一对同形副词都做了类似的考察,得出了许多与传统看法不一样的结论。有的结论对现有词典中关于这些副词意义用法描述的修正和补充会有很高的价值。

对汉日语同形副词的研究,不但使我们摸清了汉日语同形副词相关的一些学术问题,而且积累了很多中日同形词研究的方法和经验。由于有这些经验和方法的积累作为基础,今年,我们以“中日两国现代语言生活中的同形词汇研究”为题申报了国家社会科学基金项目,并成功获得了立项。同时,汉日语同形副词的研究也为我们开展教育部重大攻关项目“东亚国家语言中汉字词汇使用现状研究”的子课题“日语中汉字词汇使用现状研究”打下了一定的基础。

《汉日语同形副词研究》是我们组织博士、硕士生对中日同形词进行研究的初步之作,一定存在着许多不成熟甚至是疏漏的地方,但是,作为国家级项目的前期探索研究,其所积累的经验和研究方法是宝贵的。从这个意义上讲,尽管这个成果目前的学术水平可能不是很高,但是我想还是应该作为这两个项目的中期成果出版出来,以供学界批评指正。得到学界同仁的指点才能够使我们的研究不断提高,才能保证国家项目顺利、高质量地完成。这是我们出版这本著作的初衷。

北京外国语大学 施建军

2012年11月22日

目 录

第一章 程度副词	(1)
汉语“大体”和日语「大体」	(2)
汉语“多少”和日语「多少」	(12)
汉语“全然”和日语「全然」	(26)
汉语“特别”和日语「特別」	(42)
汉语“相当”和日语「相当」	(59)
第二章 状态副词	(93)
汉语“断然”和日语「断然」	(94)
汉语“唯一”和日语「唯一」	(103)
汉语“一举”和日语「一挙」	(118)
汉语“依然”和日语「依然」	(133)
第三章 陈述副词	(145)
汉语“当然”和日语「当然」	(146)
汉语“绝对”和日语「絶対」	(155)
汉语“普通”和日语「普通」	(168)

汉语“实际”和日语「実際」	(178)
汉语“万一”和日语「万一」	(195)
汉语“一概”和日语「一概」	(205)
汉语“一一”和日语「一一」	(226)
第四章 时间副词	(239)
汉语“平常”和日语「平常」	(240)
汉语“始终”和日语「始終」	(256)
汉语“一旦”和日语「一旦」	(273)
汉语“早晚”和日语「早晚」	(283)
第五章 频度副词	(303)
汉语“时时”和日语「時時」	(304)
汉语“一度”和日语「一度」	(314)
汉语“一时”和日语「一時」	(327)
汉语“再三”和日语「再三」	(340)

第一章

程度副词

汉语“大体”和日语「大体」

はじめに

中日同形語の“大体”(dàitǐ)と「大体」(だいたい)をそれぞれ《現代汉语词典》と『明鏡国語辞典』で調べると、次のように解釈している。

“大体”——①[名]重要的道理:识~,顾大局。②[副]就多数情形或主要方面说:我们的看法~相同。

「大体」——[副]①[名]全部ではないが、大部分。おおよそ。たいてい。あらまし。「~の出席者が賛成する」「説明は~わかった」。②ほぼその数量であるさま。おおよそ。「通勤には~一時間かかる」。③もとはと言えば。そもそも。「~お前が悪いんだ」。^①

両辞書は共に現代語の記述を主にしているので、現代語における両語の意味は大体把握できるだろう。本稿ではこの解釈に基づき、中日同形語対照研究の一例として、中国語の“大体”(dàitǐ)と日本語の「大体」(だいたい)の異同をコーパス言語学及び対照言語学の立場から考察したい。

1. “大体”と「大体」の使用実態に基づく分析

“大体”と「大体」の使用実態について、筆者は“北京大学中国语言学研究センター語料庫”と「現代日本語書き言葉均衡コーパス」からそれぞれ1000例を抽出し、さらに分類考察を行った。その分析結果は以下の示す通りである。

① ②と③の用法を以下ではそれぞれ副詞①、副詞②と称する。

1.1 中国語の“大体”に関する考察

名詞としての“大体”は“重要的道理”という意味で、主な使い方は“识～，顾大局。”である。この線でコーパスの検出例から見ると、1000 例の中で80 例があり、8.0％を占める。一方、残りの920 例は副詞としての“大体”で、現代中国語の“大体”は主に副詞として使われていることが分かった。

また、検出例を見ると、名詞としての“大体”は主に“识～，顾大局。”或いは“顾～，识大局。”のパターンで使われているが、副詞としての“大体”の使用パターンはやや複雑である。表で示すと、次のようになる。

表 1 副詞としての“大体”の使用パターン

分類	(多)用例	例数	比率	総数
～＋動詞①	～＋(可)分(为)	82	8.2％	602
	～＋形成	45	4.5％	
	～＋相当	38	3.8％	
	～＋持平	21	2.1％	
	～＋经历	16	1.6％	
	～＋保持	14	1.4％	
	～＋反映	10	1.0％	
	～＋包括	8	0.8％	
	～＋同步	7	0.7％	
	～＋占	7	0.7％	
	その他	354②	35.4％	

① この内、「～＋動詞＋(介詞)＋数量詞」「～＋動詞＋時間名詞」のパターンはそれぞれ113 例、13 例が検出された。

② この表には主に特徴的なものを収めようとしているので、特に多見されない例は省かれている。

表 1 续

分類	(多)用例	例数	比率	総数
～＋形容詞	～＋平衡	45	4.5%	160
	～＋相同	43	4.3%	
	～＋一致	24	2.4%	
	～＋一样	6	0.6%	
	～＋差不多	6	0.6%	
	その他	36	3.6%	
～＋副詞	～＋都	16	1.6%	61
	その他	45	4.5%	
～＋指示代詞	～＋如此	10	1.0%	13
	その他	3	0.3%	
～＋名詞	特徴的な例なし	44	4.4%	44
～＋介詞短語	特徴的な例なし	24	2.4%	24
～＋疑問代詞	～＋如何	1	0.1%	1
その他	特徴的な例なし	15	1.5%	15

表 1 から次のような特徴が観察できるだろう。

①“大体”の後続品詞の中、動詞と形容詞が最も多く、総じて七割以上を占める。

②動詞と形容詞の内、物事の状態を表す語が多い。

③“大体”の後に直接数量詞及び疑問詞が来ない。付くとしても、前者が“大体”と数量詞の間に動詞が入れ、後者が極めて少数である。例えば、

(1) 从整个国内生产总值来讲, 我们的国防经费去年大体占百分之一点三, 今年降为百分之一点二, 还有所降低。

(人民日报, 1995. 03)

(2) 现行的销售政策大体上如何? (哈佛管理培训系列全集)

1.2 日本語の「大体」に関する考察

現代日本語の「大体」は名詞と副詞の品詞性を備える。名詞としては「全部ではないが、大部分。おおよそ。たいてい。あらまし。」の意味で、コーパスの検出例を見ると、1000 例の中で98 例があり、9.8%を占める。それに対して、副詞としては「ほぼその数量であるさま。おおよそ。」或いは「もとはと言えば。そもそも。」という意味で、1000 例の中で902 例があり、現代日本語の「大体」は主に副詞として使われていることが分かった。

品詞性による用例差及び意味の相違が“大体”と「大体」の対照分析を可能にしたが、先ず例文の分類に基づいて、副詞としての「大体」の使用パターンを表 2にまとめてみた。

表 2 副詞としての「大体」の使用パターン

意味別	分類	例数	比率	総数
副詞①	～＋名詞①	263	26.3%	849
	～＋数量詞	252	25.2%	
	～＋動詞	94	9.4%	
	～＋指示詞	92	9.2%	
	～＋疑問詞	69	6.9%	
	～＋形容動詞	25	2.5%	
	～＋副詞	14	1.4%	
	～＋形容詞	10	1.0%	
	その他	30	3.0%	
副詞②	～＋名詞	53	5.3%	53

① 名詞の内、「時間名詞」が特徴的な存在で、30 例が含まれる。例えば、……一九七〇年ごろまでは大体毎年使う石油の量を上回る埋蔵量だけ発見してきていたわけですが、……(古田徳昌/第 080 回国会/参議院/常任委員会/外務委員会)

表 2に基づいて検出例文を分析してみると、次のような特徴が観察できるだろう。

①「大体」の後続品詞の中、名詞と数量詞が最も多く、それに続いて動詞、指示詞、疑問詞が順に来る。

②副詞②は物事の根源に言及しているので名詞が多続き、その名詞に対してやや批判的で、マイナスのイメージがする。

(3)「夫の努力が足りないのよ。大体男ってというのは一」

(赤川次郎, 1988, 『三毛猫ホームズと愛の花束』)

1.3 “大体”と「大体」の異同について

1.3.1 名詞性から見た異同

(4)筹备成立香港特别行政区的各项工作非常艰巨,我们要讲团结、识大体、顾大局,万众一心,群策群力,把这些工作出色地完成。

(人民日报, 1996. 01)

(5)このように見てくると、以上列举した教訓には、一連の關係があり、又孔子の思想の大体を尽くしておるもののように思われる。

(諸橋轍次, 1989, 『論語の講義』)

名詞としての“大体”と「大体」の意味は前述した通りであるが、中国語の例の場合は80年代からの経済発展と共に、国民一人一人を励ますためにスローガンとして愛用される一方、日本語の例はほとんど物事の大部分という意味で使われる。同じ品詞性におけるこの違いは意味の面で明らかである。

1.3.2 副詞性から見た異同

本節では1.1及び1.2の考察、特に副詞からの考察を対照しながら、副詞としての“大体”と「大体」の相違点を検討する。

先ず日本語の「大体」の副詞②の意味から見ると、副詞②はあまり好ましくない結果の物事の根源に言及する場合に用いられ、話者の慨嘆の暗示がこもる。この意味用法は中国語の“大体”が備わっていない。

次に“大体”の副詞用法と「大体」の副詞①の相違点を検討すると、以下のような結論が出されるだろう。

①両語とも物事の全部ではないが、その大多数の場合、或いはその主な方面を精確に捉えるのではなく、総括的に把握する意味である。

②同じ総括的に把握すると言っても、“大体”の後に動詞と形容詞が最も多く付き、物事の状態を表す語が多い。それに対して、「大体」の後に名詞と数量詞が最も多く付き、物事の数に重点が置かれる。つまり、“大体”は状態の推量に偏るのに対し、「大体」は数量の推量に偏る。

(6) 降价降到一定程度, 市场供求就会大体平衡, 价格就会相对稳定。
(人民日报, 1996. 06)

(7) 国内需要がいま大体一億七千二百万足ぐらいだと思っておりますが、そうしますと輸入ものがおおよそ二〇%近い数字になります。
(細谷分科員, 1977. 第 80 回国会)

“大体”の後に疑問詞がほとんど来ないが、「大体」の後に来るケースが多い。例えば、

(8) そのうち、今回の泥流で埋まってしまってもう使えないものは大体何分の一ぐらいになるのでしょうか。

(大渕絹子, 2000. 第 147 回国会)

2. “大体”と「大体」の対訳に関する考察

前節を通して、“大体”と「大体」の相違点を見てきたが、それに基づいて、現実における両語の対訳の問題を本節で考察したい。

筆者は北京日本学研究中心に開発された「中日対訳コーパス」を利用して、“大体”が含まれる文を104例、「大体」が含まれる文を131例検出した。それぞれの対訳文^①の分析結果を以下で示す。

① 訳語なしの文はそれぞれ5例、28例があった。